

# 山寺通信

## 鶏谷山花栄寺だより

### 今号の記事：

- 夏の農園にて
- 住職辞令親授式
- 大本山永平寺、御誕生寺参拝と北陸路旅行
- 晋山結制準備着々と一扁額、三十三観音前机、前庭
- 平成25年度盆内の報告
- お寺のお墓

## 夏の農園にて

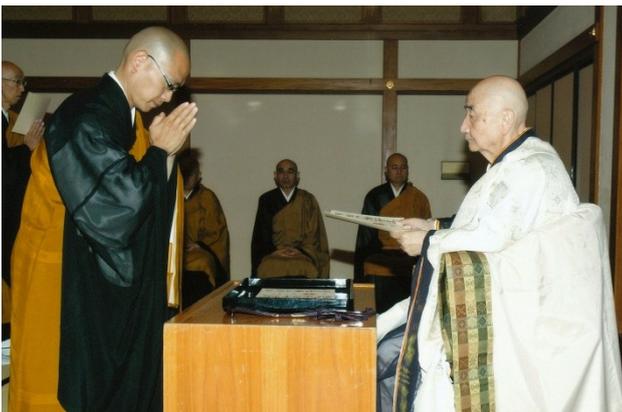
小学校の夏休みになり、長女多映も二回目の夏休みを満喫しています。今夏二年生は、農園を運営しています。トウモロコシ、きゅうり、なす、ミニトマト、かぼちゃ、スイカ、さつまいも、オクラ、枝豆などの作物を学校のミニ菜園で栽培しているのです。子どもたちは当番を決め、順番で水やりをしています。我が家は7月31日に水やり当番がまわってきました。

早朝、眠い目をこする娘を自動車に乗せ、学校に向かいました。到着して農園の前に立った時、あまりに草がぼうぼうで呆然となりました。背丈よりも高い雑草がはびこっていて、どれが作物でどれが雑草かわからない状態なのです。どこが畝でどこが通路かも全く分かりません。これまでの当番の人達は、ホースを使って水を撒くだけで、草取りは全くしていなかったのです。これは何とかしなくてはならないと思い、翌朝から草取りに通いました。毎朝1時間、鎌を手に逞しい雑草を根こそぎ抜き取ってゆきました。なかには両手で力いっぱい引きぬかないと抜けないような、茎の直径が5センチもあるような雑草もあり、かなり難儀な仕事でした。それでも数日経つと、畝が幾すじも浮き上がり、ようやく畑らしくなりました。作業をしながら、いろいろなことを考えます。

そのひとつは、子どもの頃の記憶でした。自分が小学校の頃も、夏休みにさつまいもを栽培したことがありました。秋、収穫の季節に先生に連れられて同級生たちと畑に行ったことが懐かしく思い出されます。しかし、私が夏休みに水やりに行った記憶は、一切ありません。よくよく思い出してみると、畑のお世話は近所の人たちが見て下さっていたのです。自分はこのんきに夏休みをすごし、畑仕事の労をみな自分の知らない誰かほかの人に任せていたのです。

遙かほるか昔の記憶がよみがえってくるにつれて、自分にご恩返しということを思うようになりました。今こうして草を取るのには、あの時サツマイモ畑のお世話を下さった方へのありがたいの気持ちなのだ、と感じました。同時に、自分を育てて下さった、幾多の御縁への感謝を想わずにいられませんでした。これまで、自分は凡庸に日々を過ごしてきました。時に人を傷つけ、時に人を裏切ることもありました。それでも、大きな力に抱かれ、今こうして息をしている。多くの人が、自分を許してくれました。その感謝の念を決して忘れるまい。心の中に風が吹きわたり、誓いを新たにした夏の朝のことです。

## 住職辞令親授式



5月23日～24日、曹洞宗宗務庁檀信徒会館(東京グランドホテル)5階研修道場で、50数名の新任住職が参加して研修会が行われました。

一泊二日の短い日程ながら、お寺運営の心構えをみっちり学ばせて頂きました。最終日、参加者は一人ずつ曹洞宗管長・福山諦法禅師様から6月1日付住職辞令を拝受しました。

## 大本山永平寺・御誕生寺参拝と北陸路旅行 6月2日(日)～3日(月)

参加者23名を得て、団参旅行に行きました。初日は、まず大本山永平寺様で諸堂と禅師様のお住まいの一部を拝観しました。同日午後から大本山總持寺御開山・瑩山禅師様ゆかりの御誕生寺様をたずね、住職の板橋興宗禅師様からご垂示を頂戴しました。ありのままの御心境を語られる板橋禅師様に感銘を受けたという感想を多く頂戴しました。夜の懇親会、二日目の東尋坊・世界遺産白川郷、バスの中と何処も笑い声の絶えない旅行でした。



上：法堂(はつとう)の前で、猫に囲まれて記念撮影(御誕生寺様にて)  
左：大本山永平寺様では、雲水さんの説明を聞きながら諸堂拝観  
左下：東尋坊の柱状節理

しんさんけっせい

### 晋山結制の準備、着々と

10月の儀式に向け、山内の動きも活発になってきました。以下に扁額修復、前机修理、前庭整備の報告をいたします。



左：本堂正面の扁額  
1823年の本堂竣工以来の修復となりました。  
(施主・山田直武様)

右：本堂奥・三十三観音前の机を直しました。ボロボロだった机が見事に蘇りました。右、下：旧魚仁様などから頂いた庭石を利用して前庭整備しました。(石移動の施主・小池寛様)



### お寺のお墓

当山26世慧明住職の妻・フサ子が亡くなって一年が経ちました。納骨を期に歴住墓、亡僧墓、寺族墓を一新いたしました。7月2日、開眼供養を執り行い、花栄寺を見下ろす高台にある墓地に御骨を納めさせていただきました。

下図、正面の五輪塔が歴代住職のお墓です。左右に墓誌があり、方丈様のお名前を刻んであります。向って右がお寺で亡くなった僧侶と花栄寺に縁のある庵住様のお墓です。向って左が寺族墓です。寺族とは、お寺に嫁いだ奥様方のことです。花栄寺寺族墓には、25世好信住職の先妻カツ・後妻ミヨ、フサ子が眠っています。

お墓は、木漏れ陽が差し込み、風が吹き抜ける地にあります。お寺においでの際にはお参り下さい。



### 平成25年度お盆内の報告

去る7月13日と14日の両日、お盆内の行事を行いました。近年には珍しく、両日ももぐずつく天候での開催となりましたが、二日間合わせて140名の檀信徒の皆様がお参りに来られました。先住妻・ミヨ十三回忌と慧明妻・フサ子一周忌を併修させていただきました。御参詣ありがとうございました。